

中国地方

ITSに関わる講演会・研究会の開催

(中国ITS研究会)

○活動概要

中国ITS研究会では、ITSを交通に関わる諸問題の解決のみならず、地域の情報化や街づくりに生かすため、毎年1回、政策動向や先進事例に関わる講演会を開催している。また、関係省庁、自治体、企業等と講師で意見を交換する場を提供している。

○活動実績(2019年度)

ITSに関わる講演会・第32回中国ITS研究会

- ・日程：2020年2月13日(木)
- ・場所：ホテルセンチュリー21広島
- ・主催：一般社団法人 中国経済連合会
- ・共催：総務省中国総合通信局、中国情報通信懇談会
- ・参加：96名

【講演1】

演題：『IoTやAIが可能とする新モビリティサービスの社会実装に向けて』

講師：経済産業省 製造産業局 自動車課
大臣官房参事官(自動車・産業競争力担当)
吉村 直泰 氏

概要：モビリティサービスの新展開として、従来からあるデータ配信サービスだけでなく、車のIoT化による多様なユースケース(「便利で快適な運転体験」「自動走行時代の基盤」「車データの活用」等)の展開が期待できる。今年度の取り組みとして、昨年4月より国土交通省・経済産業省が新規展開した「スマートモビリティチャレンジ」による移動課題の解決及び地域活性化の事例をご紹介いただいた。



吉村氏

【講演2】

演題：『Mobility Innovation』

講師：MONET Technologies株式会社 事業推進部長
上村 実 氏

概要：高齢化、買い物困難者、地方の経営難なバス会社、過疎化した地域の医療機関等が抱えるさまざまな社会課題を解決する為に、MaaSと様々なサービス(医療、福祉、観光等)が連携した具体的な事例をご紹介いただいた。



上村氏

【講演3】

演題：『サステイナブルZoom Zoom宣言2030に基づくマツダの社会課題への取り組み』

講師：マツダ株式会社 執行役員
R&D管理・商品戦略・技術研究所担当
工藤 秀俊 氏

概要：マツダ株式会社の車作りに対する志は、人間の能力を最大限に引き出す環境を提供することであり、そこに注力している。合わせて、人間のミスを防ぐために先進安全技術を幅広く採り入れることで、緊急時や高齢者でも安全な運転が可能となる社会の実現に貢献したいとの説明があった。



工藤氏

【自由意見交換会(講師との意見交換)】

MaaSの社会実装に向けた課題や、導入費用、地域との対話の必要性等、幅広い議論が行われた。